

## 研究活動報告 報告期間 2020年1月～12月

雑誌名	東洋大学大学院紀要
巻	57
ページ	223-263
発行年	2021-03-15
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1060/00012623/">http://id.nii.ac.jp/1060/00012623/</a>

# 研 究 活 動 報 告

報告期間 2020年1月～12月

## 文学研究科

### 【哲学専攻】

1月30日（木） 白山キャンパス 6404教室	2019年度哲学専攻修士論文口述試験を実施した。今回の修士論文提出者は、博士前期課程2年生の4名であった。1人あたり、発表・質疑応答合わせて50分の時間を設けた。教員7名のほか、院生10名の出席があった。受験者は指導教員をはじめとした出席者からの質問に答え、各自の修士論文の成果を報告した。
2月5日（水） 白山キャンパス 6405教室	2019年度哲学専攻修士論文研究報告会を実施した。博士前期課程1年生の2名が発表を行った。質疑応答も含めて各自に50分の発表時間を与え、次年度の修士論文提出に向けた研究の進捗状況を報告した。本会は大学院生が中心となって企画したものであり、院生8名が参加した。今後の修士論文執筆の計画について、院生同士での活発な議論が行われた。
8月1日（土） 白山キャンパス 文学部会議室	2020年度哲学専攻修士論文中間発表会を実施した。発表時間は質疑応答を含めて各自50分の時間を設け、本年度に修士論文を提出予定の博士前期課程3名の院生が発表を行った。なお、本会はコロナウイルスの感染予防対策として、リモート配信も並行して行われた。現地参加とリモート参加を合わせて教員は6名、院生は発表者を含めて8名が参加した。修士論文の完成と質的向上のため、出席者から多角的な意見が出され、活発な議論が交わされた。
10月24日（土） 白山キャンパス 6310教室	第30回白山哲学会を実施した。本年度は博士前期課程在学中の伊藤俊介氏、本学の卒業生で国際哲学研究センター研究支援者の藤坂大佑氏が研究発表を行い、その後、本学教員の相楽勉氏による講演が行われた。なお、本会はコロナウイルス感染予防対策としてリモート配信も並行して行われた。現地参加とリモート参加を合わせて18名の参加者があり、それぞれの発表・講演について活発な議論が交わされた。

## 【インド哲学仏教学専攻】

<p>6月24日（水） 13時～15時30分 Webex</p>	<p>インド哲学仏教学専攻2020年度春学期院生研究発表会を開催した。本年度は新型コロナウイルス拡大の最中であったので、初めての試みとしてWebexを用いてリモートで行った。そのためか、本年度の発表者数は例年に較べて少なめであった。また、状況を勘案しつつ、急遽開催に踏み切ったため、恒例の外部講師による講演は行えなかった。なお、当日のプログラムは以下の通りである。</p> <p>開会の辞 13：00～13：05 専攻長 伊吹敦 新入生研究計画報告</p> <p>13：05～13：25 柏本智史（博士前期課程一年）「八千頌般若経に第6章における随喜と廻向について」 中川照遵（博士前期課程一年）「初期仏教聖典の新旧判定の方法論について」 前田恭介（博士前期課程一年）「ニカーヤ読解」 楊鳳芹（人民大学からの特別学生）「牛頭禅の実践 修道研究—『絶観論』の「絶観」を中心として」</p> <p>院生研究発表</p> <p>13：30～13：55 シスコ・マシュー（博士前期課程二年）「ガンターパ著のŚrīcakrasaṃvarasādhanaについて」 13：55～14：20 是松宏明（博士後期課程二年）「ジャイナ教における瞑想実践者の分類」 (14：20～14：30 休憩) 14：30～14：55 崎山忠道（博士後期課程三年）「『稲芊経』という経典の名称について」 14：55～15：20 谷釜智洋（博士後期課程三年）「大正期仏教教団の門徒教化への新たな取り組み—真宗大谷派「仏教学会」を中心として」</p> <p>閉会の辞 15：25～15：30 橋本泰元</p> <p>当日は、非常勤講師の先生方の多くが参加して下さり、院生と合わせて二十人以上が参加した。また、研究発表会後は院生会の主催によるリモートでの懇親会を開催した。</p>
--	---

<p>11月25日（水） 13時～16時10分 Webex</p>	<p>インド哲学仏教学専攻2020年度秋学期院生研究発表会を開催した。春学期に続いてWebexを用いてリモートで開催した。発表者数は例年よりも少なめであったが、今回は、九州大学の岡野潔先生をお呼びして講演会を開催することができた。リモートであればこそ遠方の先生をお呼びできたのは、「禍を転じて福となす」ものであった。なお、当日のプログラムは以下の通りである。</p> <p>開会の辞・講演者紹介 13：00～13：15 専攻長 伊吹敦 講演 13：15～14：15 九州大学教授 岡野潔先生 演題：「インド仏教の世界創世神話である「アッガンニャ神話」はいかに形成されたか」 (14：15～14：30 休憩)</p> <p>院生研究発表 14：30～14：55 崇昊（博士前期課程二年）「明太祖の佛教に対する考え方——『神異典』を中心として」 14：55～15：20 古川峻（博士前期課程二年）「滅罪法（プラヤーシュチッタ）におけるチャンドラーヤナ滅罪の在り方」 (15：20～15：35 休憩) 15：35～16：00 梅田愛子（博士後期課程三年）「梵文『維摩経』第1章の偈頌についての考察」</p> <p>閉会の辞 16：00～16：10 山口しのぶ</p> <p>岡野先生の講演は長年の研究に基づく刺激に富む内容で、若手研究者には啓発されるところが多かったと推察される。岡野先生の講演の効果もあって、非常勤の先生方の出席もことのほか多く、三十人に近い参加者となった。非常勤の先生方は、院生の発表に対しても質問や助言が多く行われ、非常に有意義な研究発表会であった。その後、春学期に続いて院生会主催のリモートでの懇親会が開かれた。</p>
---	---

# 【日本文学文化専攻】

1月22日（水） 14：30～15：30 白山キャンパス 8204教室	2019年度 学位論文公聴会の開催 学位論文提出者の発表。教員、博士前期・後期課程の学生、校友が聴講し質疑応答が行われた。 入退室自由で参加者30名。 【発表】 清水 麻利子 片山廣子短歌研究
1月22日（水） 16：00～17：40 白山キャンパス 8204教室	2019年度 修士論文発表会の開催 2019年度修士論文提出者の発表。教員と博士前期・後期課程の学生および校友による活発な質疑応答が行われた。 入退室自由で参加者30名。 【発表】（博士前期課程2年生） 開会の辞 三宅 和子 1. 中畠 綾子 EPAインドネシア人介護福祉士候補者の日本語コミュニケーション ーグローバル時代に求められる日本語教育とはー 2. 黎 経桃 コーパスデータに見る「ちょっと」の多機能性の分析 ー中国人日本語学習者の理解をめざしてー 3. 青木 元子 『伊勢物語』の研究ー浮世草子への道のりー 閉会の辞 山崎 甲一

7月25日（土） 13：00～17：10 Webex meetings 使用によるオンライン開催	<p>2020年度 修士論文中間報告会・発表会の開催</p> <p>2020年度修士論文提出予定者の中間報告と9月修了予定者の修士論文の発表。教員と博士前期・後期課程の学生による活発な質疑応答が行われた。入退室自由で参加者30名。</p> <p>【発表】（博士前期課程2年生）</p> <p>開会の辞 <span style="float: right;">菊地 義裕</span></p> <p>〈修士論文中間報告会〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 印出 隆之 日本相撲文化の研究—横綱栃木山を中心に</li> <li>2. 石井 浩子 高橋虫麻呂研究</li> <li>3. 王 学勤 芥川龍之介「杜子春」研究</li> <li>4. 谷 美映子 夢野久作 技巧と女性</li> <li>5. 有住 春香 岡本かの子論</li> <li>6. 松井 佑奈 文学テキストにおける草稿研究</li> <li>7. 石川 幸恵 近現代小説における「語り」の研究</li> <li>8. 松井 潤 訳詩集『於母影』の研究—日本近代詩の成立における意義と影響</li> </ol> <p>〈修士論文発表会〉</p> <p>張 莉 芥川龍之介研究—不安についての考察</p> <p>閉会の辞 <span style="float: right;">三宅 和子</span></p>
---	---

11月14日（土） 13：00～18：00 Webex meetings 使用によるオンライン開催	<p>2020年度 修士論文構想勉強会の開催</p> <p>2020年度入学生の、修士論文の構想についての発表勉強会。専攻初の企画であったが、教員と博士前期課程の学生による活発な質疑応答が行われた。入退室自由で参加者30名。</p> <p>【発表】（博士前期課程1年生）</p> <p>開会の辞 菊地 義裕</p> <p>1. 内田 遼平 同性愛言説と三島由紀夫</p> <p>2. 佐藤菜々子 ケア小説論</p> <p>3. 野原 彩佳 中原中也研究</p> <p>4. 賈 子 田村俊子研究</p> <p>5. 立花 千晶 指示詞の研究</p> <p>6. 田中 希望 『万葉集』 相聞歌の研究</p> <p>7. 飯田 一芳 『仁勢物語』 の研究</p> <p>8. 倉井 繭子 古典作品における天人・天女</p> <p>9. 上坂 紋菜 僧正遍照研究</p> <p>10. 村田 彩華 藤原為相研究</p> <p>11. 本間 柚映 謡曲『道成寺』 研究</p> <p>閉会の辞 原田 香織</p>
--	---



**【中国哲学専攻】**

<p>3月21日（土） 13時～17時 白山校舎6号館 6409教室</p>	<p>（新型コロナウイルス感染予防のため、以下のプログラムは中止された）</p> <p><b>【修士論文成果発表】</b></p> <p>劉雨佳（博士前期課程）「『第七天』に見える余華の死生観——初期作品「現実一種」との比較から考察する」</p> <p>楊若琳（博士前期課程）「張愛玲による上海市民像」</p> <p><b>【研究発表】</b></p> <p>劉心突（博士後期課程）「羅洪先における「万物一体論」」</p> <p>余祺琪（博士後期課程）「羅近溪の「復」解釈」</p> <p>黒田祐介（博士後期課程）「陽明学における「赤子の心」について」</p> <p><b>【基調講演】</b></p> <p>白井順（東洋大学文学部准教授）「明治期桑名の闇斎学派—秋山罷斎とその周辺—」</p>
--	---

8月1日（土） 10時30分 ～16時30分 オンライン開催	<p>&lt;午前の部&gt;10時30分～</p> <p>【博士前期課程 新入生研究構想発表】</p> <p>佐藤瑛（博士前期課程）「張飛像の変遷」</p> <p>許瑋玲（博士前期課程）「程小青の文学活動」</p> <p>【博士前期課程 修士論文構想発表】</p> <p>鄭丹（博士前期課程）「謝靈運の山水詩を育んだ舞台—会稽の始寧をめぐって」</p> <p>李華偉（博士前期課程）「『四書改錯』と『駁四書改錯』との比較・分析による研究」</p> <p>&lt;午後の部&gt;13時30分～</p> <p>【博士後期課程 研究発表】</p> <p>劉心奕（博士後期課程）「羅洪先思想における「万物一体論」</p> <p>黒田祐介（博士後期課程）「陽明学における「赤子の心」について—王陽明の「赤子」観—」</p> <p>【研究発表】</p> <p>豊田尚徳（博士前期課程修了）「白鳥庫吉以前の堯舜禹抹殺論—富永仲基・井上円了・康有爲—」</p> <p>土田秀明（博士後期課程退学）「王陽明致良知再検討への一私論—賢人論へのアプローチ」</p> <p>参加者数 40名</p>
---	---

## 【英文学専攻】

7月19日（日） ～8月2日（日） 東洋大学 ToyoNet-ACE	「春季院生発表会」 2020年はCOVID-19の蔓延でToyoNet-ACEによるオンライン開催である。在籍の院生全員が2020年を中心にした今後の研究テーマ・目的・方針・抱負などについて発表をオンラインで行った。研究方針の添付ファイルはToyoNet-ACEで公開され、それぞれの研究方針に対して有益なコメントが教員からオンラインで寄せられた。アクセス数40。
10月18日（日） ～11月1日（日） 東洋大学 ToyoNet-ACE	「秋季院生発表会」 2020年はCOVID-19の蔓延でToyoNet-ACEによるオンライン開催である。博士前期課程2年の院生全員が修士論文の構想も発表した。修士論文の構想の添付ファイルはToyoNet-ACEで公開され、それぞれの修士論文の構想に対して有益なコメントが教員からオンラインで寄せられた。12月5日の「第54回大学院英文学専攻協議会研究発表会」で研究発表予定の院生1名（博士前期課程1名）が予行演習も兼ねて研究発表原稿をオンラインで発表した。修士論文の構想と同様に、研究発表原稿に対して有益なコメントが教員からオンラインで寄せられた。アクセス数50。
12月5日（土） 青山学院大学 Webex-Meetings	「第54回大学院英文学専攻協議会研究発表会」 2020年はCOVID-19の蔓延でWebex-Meetingsによるオンライン開催である。本学から参加した院生は、2名（博士前期課程2名）であり、そのうち1名（博士前期課程1名）が研究発表を行い、高い評価を得た。教員は3名がアドバイザーとして参加した。例年研究発表会の後に行われる懇親会はCOVID-19の蔓延で中止になった。アクセス数不明。

## 【史学専攻】

1月25日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学アジア文化研究所創立60周年記念・第14回年次集会 博士後期課程 小林栄輝「唐代の家法について—昌黎韓氏と河東柳氏の婚姻関係をめぐって—」 博士後期課程 程楽「モンゴル地域における清末新政と京張鉄路の建設」
6月6日（土） Zoom （オンライン）	古代天皇研究会 第1回研究報告会 博士後期課程 上村正裕「皇后・皇太后の儒教的観念と権威—一日中比較から考える—」
7月27日（月） Webex （オンライン）	第37回東アジア后位比較史研究会 博士後期課程 上村正裕「皇后の儒教的観念と権威—一日中比較から考える—」
10月3日（土） 東洋大学 白山キャンパス	東洋大学大学院 文学研究科史学専攻研究発表会 ＜日本史専攻＞ 博士前期課程 川島丈尚「幕末情報史研究—江戸の情報屋『藤岡屋日記』収録の「海防全書」の分析から—」 博士後期課程 本林義範「上野戦争における福山藩士の彰義隊不参加と山岡鉄舟」 博士後期課程 恵谷敏規「1849年の英艦マリナー号来琉と在琉英人宣教師ベッテルハイム」 博士後期課程 小林哲也「慶応3年長崎入港英艦イカルス号水兵殺害事件と土佐藩」 博士後期課程 上村正裕「日本古代王権変質過程の研究」 ＜外国史専攻＞ 博士前期課程 阮一通「民国元年における地方分権状況と袁世凱政権の中央集権化政策」 博士後期課程 中村祐也「近代朝鮮の在地社会から見た中央と地方—西路電線の架設と維持をめぐって—」 博士後期課程 程楽「清末新政期における京張鉄道と張家口の貿易について」
11月29日（日） Zoom （オンライン）	東洋大学人間科学総合研究所若手研究チーム「前近代アジアにおける統治の比較史」公開研究会 博士後期課程 和田勤「文久年間の対馬藩による援助要求運動と勝海舟」

12月4日（金） Webex （オンライン）	<p>東洋大学人間科学総合研究所シンポジウム「近世黒潮文化圏における異国と情報」</p> <p>博士後期課程 恵谷敏規「琉球に伝えられた1840年代後半の中国情勢—英仏人宣教師の滞琉との関連において—」</p> <p>博士後期課程 小林哲也「土佐藩における「異国」の衝撃—イカルス号乗組員殺害事件を中心に—」</p>
------------------------------	--

## 【教育学専攻】

<p>2月1日（土） 14：00～17：00 白山キャンパス 7号館 地下1階教室</p>	<p><b>大学院修士論文報告会（博士前期課程）</b></p> <p>下記の大学院生が各論文の成果および進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。</p> <p><b>1. 大学院修士論文提出者（博士前期課程）3名による成果報告</b></p> <p>木下 純「桑原正雄と郷土教育全国協議会の活動軌跡に関する総合的研究―郷土全協機関誌の分析を中心として―」</p> <p>小出敬一「特別支援学校（知的障害）における学校教育目標の設定と共有化に関する研究―校長を回答者とする質問紙調査の分析を中心に―」</p> <p>張 ソウ「保育者アイデンティティ形成に関する研究」</p> <p><b>2. 修士論文提出予定者（博士前期課程）5名による中間報告</b></p> <p>奥田健太郎「教科横断的なカリキュラム・マネジメントに関する研究」</p> <p>勝又友也「AIを活用した教育による「学校」概念の変容と公教育の課題」</p> <p>薛蘊ブン「高校生の多文化受容に関する研究―多文化環境における質問紙調査調査を中心として―」</p> <p>田中 幸「交流及び共同学習の担ってきた役割と今後の方向性についての検討―2004年から2020年までの実践例の分析を通して―」</p> <p>真鍋貴拓「教育実習に関する悩みや不安を解決する支援システムの開発」</p>
<p>8月1日（火） 15：25～16：30 Webによる開催</p>	<p><b>教育学専攻修士論文中間報告会（1）</b></p> <p>下記の博士前期課程大学院生3名が各論文の進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。</p> <p>濱谷敦子「看護学生の実習ストレスとレジリエンス―老年看護学実習に焦点をあてて―」</p> <p>奥田健太郎「教科横断的なカリキュラム・マネジメントに関する研究―上越市立大手町小学校（文部科学省研究開発学校）の事例を通じて―」</p> <p>須藤真人「特別支援学校（知的障害）高等部における家庭科教育の変遷と授業内容に関する研究―昭和47年度版学習指導要領から平成21年度版学習指導要領まで―」</p>

<p>8月22日（土） 16：00～18：40 Webによる開催</p>	<p><b>教育学専攻修士論文中間報告会（2）・博士論文中間発表会</b></p> <p>下記の博士前期課程大学院生4名が各論文の進捗状況（研究目的と方法、研究の成果と課題）を報告し、質疑応答および討議を行った。また、博士後期課程大学院生1名が、博士論文中間発表を行い、質疑応答および討議を行った。</p> <p>&lt;博士前期課程院生中間報告&gt;</p> <p>真鍋貴拓「教育実習に関する悩みや不安を解決する支援システムの開発」</p> <p>薛蘊ブン「高校生の多文化受容に関する研究－多文化環境における質問紙調査を中心として－」</p> <p>勝又友也「ICTを活用した教育がもたらす『学校』概念の変容と公教育の課題」</p> <p>田中 幸「交流及び共同学習の担ってきた役割と今後の方向性についての検討－2004年から2020年までの実践例の分析を通して－」</p> <p>&lt;博士後期課程院生博士論文中間発表&gt;</p> <p>長島達也「現代青年農業者のキャリア形成とその形成を促す学習支援に関する研究－農業法人における雇用就農期の青年農業者の学習活動を中心として－」</p>
<p>12月8日（火） 12：10～13：00 Webによる開催</p>	<p><b>博士学位請求論文公聴会</b></p> <p>下記の博士後期課程大学院生1名の博士学位請求論文公聴会が公開にて行われた。略歴紹介および研究内容の発表後に質疑応答を行った。博士後期課程在籍者3名、博士前期課程在籍者1名、教員6名、他大学大学院生1名の計11名が参加した。</p> <p>長島達也「現代青年農業者のキャリア形成とその形成を促す学習支援の研究－ライフヒストリー法による雇用就農期の学習活動分析を中心に－」</p>

# 【国際文化コミュニケーション専攻】

10月28日（水）	修士論文・博士論文経過報告会
14：00～17：10	14：00～14：10 開会のあいさつ・専攻長説明
オンライン （Webex）	14：10～14：30 YU MIAO：Analysis of Refusal Utterances in Fictional Dialogue
	14：30～15：00 牛 冬二：マンガにおける日本語と英語オノマトペ音韻と形態の特徴
	15：00～15：30 呉俊虹：赤羽末吉の絵本研究－中国民話絵本と日本昔話絵本の比較－
	（休憩）
	15：40～16：10 高倉悠希：グリム童話研究 水と人間の関わりを中心に
	16：10～16：40 天野将弘：ドナルド トランプ大統領の英文法および語彙の過ち
	16：40～17：10 DA SILVAROSA ELIAYN：（Re）Writing and Dialogue as tools to improve English Composition teaching at Japanese University
	17：10 閉会のあいさつ
	参加院生6名、教員10名
	前期課程在籍者4名（うち2名は中国から参加）、後期課程在籍者2名が、修士論文・博士論文の執筆経過報告として、論文の1部分を口頭発表した。先生方からの厳しい質問に院生たちは一生懸命に答えていた。



# 【英語コミュニケーション専攻】

6月24日（水） 13：00開始 白山キャンパス Webexによる オンライン開催	英語コミュニケーション専攻在籍学生のための論文執筆中間発表会 博士前期課程2名を対象とした中間発表会を開催し、教員3名が出席した。
10月28日（木） 13：00開始 白山キャンパス Webexによる オンライン開催	英語コミュニケーション専攻在籍学生のための論文執筆中間発表会 博士前期課程1名を対象とした中間発表会を開催し、教員3名が出席した。

## 社会学研究科

### 【社会学専攻】

1月20日（月） 18：10～20：30 白山キャンパス 8305教室	白山人類学研究会2019年度第6回定例研究会 報告者：ゴロウィナ・クセーニヤ（東京大学特任准教授）土井清美（中央学院大学講師） 題目：モノとの関わり方をめぐるポテンシャルティ 出席者：院生博士前期2名、院生博士後期2名、教員5名、外部5名 計14名
2月4日（火） 15：00～16：30 白山キャンパス 8304教室	社会学研究科社会学専攻2019年度院生セミナー 講師：小川祐喜子（人間科学総合研究所客員研究員） 題目：地道に、確実に、競争的資金を獲得する方法
6月29日（月） 18：10～20：30 オンライン （第2会議室とのハイブリッド）	白山人類学研究会2020年度第1回定例研究会 報告者：山口匠（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程） 題目：憑依の表れ／現れにおける複層性について—モロッコでの語りと儀礼実践を事例として 出席者：院生博士前期3名、教員6名、外部40名 計49名
10月12日（月） 18：10～20：30 オンライン （第2会議室とのハイブリッド）	白山人類学研究会2020年度第2回定例研究会 報告者：山田香織（東洋大学・講師） 題目：外から埋め込まれた「祭り」の実践とそこからはみ出た実践—地域国際芸術祭に関する観光人類学的研究 出席者：院生博士前期4名、教員6名、外部65名 計75名
11月16日（月） 18：10～20：30 オンライン	白山人類学研究会2020年度第3回定例研究会 報告者：Astghik Hovhannisyan（Russian-Armenian University/Ritsumeikan University） 題目：From Pain to Activism：The Case of Victims of Coerced Sterilizations in Japan 出席者：院生博士前期4名、教員5名、外部20名 計29名
12月21日（月） 18：10～20：30 オンライン	白山人類学研究会2020年度第4回定例研究会 報告者：鈴木伸二（近畿大学総合社会学部・准教授） 題目：アートにおける関係性、作家としての民族誌家 出席者：院生博士前期4名、教員6名、外部50名 計60名

## 【社会心理学専攻】

2月2日（日） 10時～12時 東洋大学スカイ ホール	修士論文発表会：社会心理学専攻の2019年度・修士論文発表会が開催され、院生および教員が参加した。なお、発表会では博士前期課程の5名が各自の修論の要約発表を行った後、それぞれについて活発な質疑応答が行われた。
9月8日（火） ～11月2日（月） 東洋大学（Web 開催）	日本心理学会第84回大会：院生12名が研究発表を行った。また、開催期間中は多くの院生が、シンポジウム、講演、一般研究発表などのプログラムを閲覧し、熱心に大会に参加した。なお、この大会は東洋大学社会学部社会心理学科が主催する大会であった（大会長・大島尚教授、事務局長・北村英哉教授、副事務局長・桐生正幸教授）。
11月14日（土） ～11月15日（日） オンライン開催	日本イメージ心理学会第21回大会：院生1名が研究発表を行った。
11月16日（月） ～11月22日（日） バーチャル大会	日本健康心理学会第33回大会：院生1名が研究発表を行った。
11月21日（土） ～11月22日（日） オンライン開催	日本犯罪心理学会第58回大会：院生2名が研究発表を行った。
注記	本年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年行っている外部講師招聘などの研究活動が実現せず、院生の研究活動も学会発表を中心とせざるを得ない状況であった。ただし、授業（社会心理学総合研究）においては、ToyoNet-ACEを利用して、例年どおり、院生各自の研究の進捗が定期的に報告され、院生間で活発な討論が行われた。

# 【福祉社会システム専攻】

2月3日（月） 白山キャンパス	修士論文最終試験（修士論文ないし特定課題研究論文の提出者に対する口述試験）。 修士課程の修士論文提出者3名、教員8名。
2月3日（月） 白山キャンパス	修士論文中間報告会。修士課程の学生1名、教員8名。
4月13日（月） オンライン	修士課程新入生ガイダンス。社会人学生に配慮し、午前11時からと午後18時15分からの2回実施。全2回の参加者計は新入生6名、教員1名。 初めてのオンライン開催となったが、事前に接続テストの機会を3回設けたので、学生の参加も非常にスムーズであった。
5月22日（土）～ 6月6日（土） オンライン	FD活動。「社会人大学院の課題：現実的な社会課題から学術的な議論への展開」 標記について、オンラインで検討を重ね、その成果を次年度のシラバスに反映させた。教員5名。
9月2日（水） 白山キャンパスおよびオンライン	修士論文中間報告会。修士課程の学生4名、教員6名。
11月5日（木） 白山キャンパス	2020年度秋エクステンション講座B「福祉社会システム専攻シリーズ 大人のひきこもりと老親（8050）問題を考える～元中学校教員として若者を支援する現場から～」を開催。 講演者： 綿貫 公平（認定NPO文化学習協同ネットワーク理事兼若者支援事業スタッフ） コーディネーターは教員2名。
12月14日（月）～ 21日（月） オンライン	FD活動。大学院としての社会貢献のあり方についてメールでのやりとりに基づいて再検討を行った。ここにおいて公開講座を担当することの意義が確認され、次年度の公開講座を引き続き担当することとその主題を定めた。教員5名。

## 法学研究科

### 【私法学専攻】

2月18日 16:00～17:00 大学院共同セミナー室	模擬講義講習会。報告者は博士後期課程の学生1名で、参加教員は6名であった。憲法の第1回目の講義を想定した講義が30分ほど行われ、そのあと、参加の教員から、講義での教科書や、レジュメ・パワポの利用方法、ToyoNetの有効な使い方、時間配分などについてアドバイスがなされ、教員同士でも、講義の進め方について活発な議論がなされた。
4月16日 11:00～12:00 ToyoNet-Ace に 資料をアップロードして実施。	大学院新入生ガイダンス（博士前期課程私法学専攻3名、博士後期課程私法学専攻3名）
11月17日 15:30～17:00 Webex-Meeting により実施。	修士論文中間報告会（博士前期課程私法学専攻5名）、参加教員10名。
11月17日 ～11月30日 Web上で実施。	法学研究科FDのためのアンケート（公法学専攻と合同で実施）。教員回答総数19名。オンライン授業の実施に関する教員間での情報集約を目的とする。
12月15日 15:30～16:00 Webex-Meeting により実施。	博士論文中間報告会（博士後期課程公法学専攻1名）、参加教員15名（公法学専攻と合同で開催）。
12月15日 16:00～17:00 Webex-Meeting により実施。	法学研究科FD研究会。参加教員15名（公法学専攻と合同で開催。）。オンライン授業の実施、秋学期以降の対面授業の実施に関する教員間での情報・意見交換を目的とする。

## 【公法学専攻】

1月14日（火） 16：00～ 2号館14階共同研究室	博士（甲）論文審査 参加者：西元加那（執筆者）、武藤眞朗（主指導教授）、萩原滋（副指導教授）、宮原均（同）、高野幸大（同）
2月4日（火） 12：00～ 8202教室	修士論文口述試験審査教員：武藤眞朗、武市周作、後藤武秀高野幸大
2月18日（火） 16：00～ 8号館特別会議室	FD講習会（博士課程学生模擬講義）参加学生：西元加那、始澤真澄 参加教員：太矢一彦、武藤眞朗、武市周作、斎藤洋、高野幸大
3月23日（月）	大学院修了式 修士課程学生5名、博士課程学生1名
4月16日（木） ホームページ	大学院ガイダンス文書公開
7月4日（土） 13：00～15：00 Webex	大学院進学相談会（相談者3名）
8月23日（日）	大学院8月入試・8月入試判定委員会
10月24日（土） 13：00～15：30 Webex	大学院進学相談会（相談者4名）
11月17日（火） 15：00～16：00 Webex	修士論文中間報告会（報告対象学生4名内病欠1名、参加教員13名、オブザーバー学生4名）
12月15日（火） 15：30～16：00 Webex	博士論文中間報告会（報告者1名、参加教員13名、オブザーバー学生4名）
12月15日（火） 16：00～17：00 Webex	FD研究会（大学院教育に関して事前に実施したアンケートに関して、研究科長が報告）

## 経営学研究科

### 【経営学・マーケティング専攻】

8月5日 Webex	2020年度経営学・マーケティング専攻（博士前期課程）「修士論文第1回中間報告会」を開催し、8名が研究報告を実施、報告内容に基づき活発な質疑が行われた。
11月4日 Webex	2020年度経営学・マーケティング専攻（博士前期課程）「修士論文第2回中間報告会」を開催し、8名が研究報告を実施、報告内容に基づき活発な質疑が行われた。

## 【ビジネス・会計ファイナンス専攻】

1月30日 —	2019年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文口述試験」を実施予定であったが、修士論文提出者がいなかったため実施されなかった。
7月25日 Webex	2020年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（中小企業診断士登録養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、20名が発表した。
7月30日 Webex	2020年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース）「修士論文第1回中間報告会」が開催され、2名が発表した。
11月26日 Webex	2020年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（会計ファイナンス専門家養成コース、企業家・経営幹部養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、2名が発表した。
12月26日 Webex	2020年度ビジネス・会計ファイナンス専攻博士前期課程（中小企業診断士登録養成コース）「修士論文第2回中間報告会」が開催され、20名が発表した。



# 【経営学専攻】

8月5日 オンライン	2020年度経営学専攻（博士後期課程）「博士論文中間報告会」を開催し、3名が研究報告を実施した。各報告に続いて、教員による指導及び活発な質疑が行われた。
11月14日 オンライン	張赫（博士後期課程3年）日本比較経営学会第45回全国大会にて研究報告 「中国多国籍企業のBOPビジネスに関する一考察—ZTEの事例を中心に—」
2020年9月 ～2021年3月 随時	郭媛嫻（博士後期課程3年）国際共同研究に参加 共同研究パートナー：中国浙江大学 共同研究内容：企業調査・研究 調査対象企業：アリババ、ユニバーサル・ジョイントなど

### 【マーケティング専攻】

8月5日 Webex	2020年度マーケティング専攻（博士前期課程）「修士論文最終口述試験」を開催し、1名が発表した。質疑応答に続き、教員間で慎重な検討を行った上で合格を決定した。
---------------	---

## 経済学研究科

### 【経済学専攻】

1月25日（土） 13：00-16：00 白山キャンパス 1509教室および 1510教室	2019年度修士論文口述試験。論文提出者10名について、各学生による報告の後、試験官教員（13名）より質疑応答を行った。各試験官の評価及び研究科委員会の審議を経て、これら10名の修士論文を合格とした。
6月11日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	春学期論文発表会（第1回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）于 夢澤（M2）「中国における環境規制が製造業の産業構造調整に対する影響」 （2）王 晶（M2）「中国の循環型社会を構築するための検討－日本の先進事例を参考に－」 （3）GAO RUICH（M2）「FDIが珠江デルタ地域の大気汚染に影響を与える研究」 教員5名、学生25名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月18日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	春学期論文発表会（第2回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）楊 思鎬（M2）「日本における年金改革を分析するための世代重複モデルの定式化について」 （2）燕 夢培（M2）「中国における家庭老人介護が女性の就労に与える影響の実証分析」 （3）黄 尚柱（M2）「公的介護保険制度を補完する民間介護保険サービスの提供について」 教員6名、学生24名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
6月25日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	春学期論文発表会（第3回）（M2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）喬 恣博（M2）「訪日中国人における消費行動に関する分析」 （2）蔡 健（M2）「スポーツによる地域における経済効果」 （3）胡 宜（M2）「中国の美術品市場におけるバブル問題に対する実証的分析－北京ポーリーを例として－」 教員6名、学生26名が参加し、活発な質疑応答が行われた。

7月2日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	春学期論文発表会（第4回）（M3, D2の修士論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）曾 浩然（M3）「中国における営業税から増値税への変更が企業財務パフォーマンスに対する影響：江蘇省の実証分析を基に」 （2）伊藤 翼（D2）「障害者の就労問題に関する定量的分析」 （3）高浜 伸昭（D2）「市街地土地汚染対策の経済分析」 教員5名、学生25名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
7月9日（木） 16：00-18：10 Zoomによるオンライン開催	春学期論文発表会（第5回）（D2, D3の論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）葉 青（D2）「日中両国の都市化・産業化に関する比較研究」 （2）孔 徳毅（D3）「貿易・サービス・地域・金融システムから見た人民元の国際化」 教員4名、学生26名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
9月24日（木） 16：30-18：00 Zoomによるオンライン開催	外部講師による特別講義を開催。 講師：（株）日経メディアプロモーション 圓尾弘和氏 テーマ：「最近の日本企業の採用活動について（大学院生・留学生の就活状況）」 教員1名、学生14名が参加し、活発な質疑応答が行われた
10月8日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	秋学期論文発表会（第1回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）H E S I Y E（M1）「コーペティションにおける自由参入と参入規制に関する厚生分析」 （2）肖 力源（M1）「スイッチングコストを伴うマルチサイド市場についての研究」 （3）李 卓雄（M1）「補助金政策が新エネルギー自動車の技術進歩に与える影響の実証分析」 教員4名、学生22名が参加し、活発な質疑応答が行われた。
10月15日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	秋学期論文発表会（第2回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分） （1）高 キン（M1）「日本における禁煙率に関する分析－禁煙率関数の推計を中心として」 （2）侯 秉辰（M1）「中国における農民専業合作社の経済効果に関する実証分析」 教員5名、学生21名が参加し、活発な質疑応答が行われた。

10月22日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第3回）（M1の論文中間報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1）張 思展（M1）「アリの森モデルの下で地域別炭素取引価格に与える影響に関する研究－湖北炭素市場を例として－」</p> <p>（2）葉 之夏（M1）「企業の社会貢献支出が企業価値に与える影響」</p> <p>（3）劉 壯（M1）「Advantageous-selectionの実証分析－中国民間医療保険市場を中心に」</p> <p>教員6名、学生22名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
10月29日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第4回）（M1の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1）李 翊菲（M1）「中国の「二人っ子政策」と既婚女性の労働供給」</p> <p>（2）C H H E M S O L I N D A（M1）「Economic Growth, Poverty and Income Inequality in Cambodia」</p> <p>（3）叶 丹敏（M1）「貿易政策と産業構造及び経済成長の関係について」</p> <p>教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
11月5日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第5回）（M1, M3の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1）H A N Y U E Y U E（M1）「日本における男性の育児休業が家庭の継続出産行為に与える影響」</p> <p>（2）胡 辛培（M1）「中国における家族の特徴が夫婦の第二子出産意欲に与える影響」</p> <p>（3）曾 浩然（M3）「中国における付加価値税改革による企業財務パフォーマンスへの影響－不動産業界を例として」</p> <p>教員4名、学生22名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
11月12日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第6回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1）楊 思鎔（M2）「世代重複モデルによる年金改革の理論的分析－日本の状況を踏まえて－」</p> <p>（2）燕 夢培（M2）「中国における家庭老人介護が女性の就労に与える影響の実証分析」</p> <p>（3）黄 尚柱（M2）「公的介護保険制度を補完する民間介護保険に対する購買意欲の向上」</p> <p>教員5名、学生22名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

11月19日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第7回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1） 喬 恣博（M2）「インバウンドに関する分析－訪日中国人における消費行動について」</p> <p>（2） 蔡 健（M2）「スポーツ・ビジネスと地域振興」</p> <p>（3） 胡 宜（M2）「中国の美術品市場におけるバブル問題に影響する要因分析～美術品市場と不動産、株式、国債市場の関係～」</p> <p>教員4名、学生21名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
11月26日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>秋学期論文発表会（第8回）（M2の修士論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1） 于 夢澤（M2）「中国における補助金对新エネルギー自動車産業に与える影響」</p> <p>（2） 王 晶（M2）「中国の循環型社会を構築するための検討－日本の先進事例を参考に－」</p> <p>（3） GAO RUICH（M2）「珠江デルタ地域における環境汚染と経済成長との関係に関する研究」</p> <p>教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
12月3日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>論文報告会（第9回）（D1, D2の論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1） 阿部 真也（D1）「いわゆる「AI生成物」の著作権帰属に関する制度研究」</p> <p>（2） 吉田 拓矢（D1）「柔軟な労働時間への選好がマクロ労働市場に与える影響の分析」</p> <p>（3） 高浜 伸昭（D2）「市街地土地汚染対策の経済分析－土壌汚染対策法の執行過程に関する考察」</p> <p>教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>
12月10日（木） 16：30-18：10 Zoomによるオンライン開催	<p>論文報告会（第10回）（D2, D3の論文報告、質疑応答含め各30分）</p> <p>（1） 伊藤 翼（D2）「地方選挙が障害者施設の地方単独事業に与える影響」</p> <p>（2） 葉 青（D2）「中国における都市農村間所得格差の要因分析－家計の各種所得を視点として－」</p> <p>（3） 孔 徳毅（D3）「RCAを用いて中国の工業製品の貿易構造の実証分析－中間財輸入を考慮して」</p> <p>教員5名、学生20名が参加し、活発な質疑応答が行われた。</p>

# 【公民連携専攻修士課程】

1月28日 大手町サテライト	成果報告会開催。毎年の大学院の活動として公表可能なものを担当院生が発表。一般、遠隔参加も含めて約50名が参加。
12月18日～ You Tube	国際PPPフォーラムを開催。コロナ禍のために集合方式ではなくスピーカーにビデオを提供してもらい、10分程度にまとめて日本語・英語字幕を付してYou Tubeにて公開する方式とした。スピーカーは、国連、英国・フランス政府、世銀等から計19名が参加。
12月25日～ You Tube	省インフラ研究会セミナー。コロナ禍のために集合方式ではなく各社からPRビデオの提供を受けて、You Tubeにて公開する方式とした。並行して、取り上げた製品、サービスの紹介文をまとめたカタログを制作して、webからダウンロード可能とした。

## 国際学研究科

### 【グローバル・イノベーション学専攻】

4月11日（水） 13：30～14：30 オンラインによる 開催（Webex）	<b>【入学者へのガイダンス実施】</b> 入学者3名（修士課程）を対象に、専攻長である毛利、入学者の主指導教員である今村、市川によりガイダンスを実施した。主に履修登録に関する注意事項、年間スケジュールの確認、連絡先の登録などを行ったうえで、入学者との質疑応答を実施した。
7月2日（木） 18：20～19：30 オンラインによる 開催（Webex）	<b>【研究進捗中間報告会の実施】</b> （修士課程2名：専攻長 毛利、主指導教員 今村、市川参加） 研究活動の進捗、現時点での悩み、今後の希望等について、個別にヒヤリングした。
7月3日（金） 17：00～17：30 オンラインによる 開催（Webex）	<b>【研究進捗中間報告会の実施】</b> （修士課程1名：専攻長 毛利、主指導教員 今村、市川参加） 研究活動の進捗、現時点での悩み、今後の希望等について、個別にヒヤリングした。
7月9日（木） 18：15～19：00 オンラインによる 開催（Webex）	<b>【院生交流会の実施】</b> （修士課程3名：専攻長 毛利、主指導教員 今村、市川参加） 上記研究進捗中間報告会において、院生（全員留学生）より現在のオンライン授業環境下で指導教員と院生の意思疎通はあるものの、院生間の関係が希薄であり孤独を感じるとの指摘があり、オンラインではあったが教員、院生全員の交流会を実施し、今後の院生間の交流の契機とした。



<p>11月13日（金） 13：00～16：30 白山1203教室とオンラインによるHyFlexにて実施</p>	<p>【海外との研究交流会】（修士課程3名：講義担当今村および学部ゼミ生3名）入学者3名（修士課程）を対象に、専攻専攻の基盤領域であるGlobal Entrepreneurship分野の外部講師として、フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団理事長ルシュバリエ教授、理化学研究所理事原山優子教授、フランス大使館科学技術参事官ジャン＝クリストフ・オフレ氏、東京理科大学学長松本洋一郎教授ほかをお招きして、コロナ後の日仏科学技術協力についてのワークショップ、"Which cooperation between Japan and France in the new post-Covid-19 environment?"をHybrid Flexibleにてパリと東京の教室をオンラインで結び開催した。院生3名に実際の国際研究交流を体験する機会を提供した。更に、これを機にフランス社会科学高等研究院からGRS・GINOS大学院とのMOUが提案され締結に向けた検討作業を開始した。</p>
--	---

## 【国際地域学専攻】

3月16日～18日 オンライン開催	第54回日本水環境学会にて博士前期課程のAing Hayphengが“Modeling of regular fecal sludge collection in Phnom Penh Capital City-Quantification of required vacuum trucks”のタイトルで論文発表を行った。
6月13日～14日 オンライン開催	第61回土木計画学研究発表会（春大会）にて博士後期課程の虫明一郎が「巨大地震の危険度に対する市区町村の定性的通減モデルに関する研究」のタイトルで論文発表を行った。
9月7日～8日 オンライン開催	第40回交通工学研究発表会にて博士後期課程の太瀬隆敬が「私的交通依存の観点から見たアジア途上国の大都市におけるトリップ特性に関する研究」のタイトルで論文発表を行った。
9月7日～11日 オンライン開催	土木学会年次学術講演会にて博士後期課程の湯浅岳史が「ミャンマー国インレー湖および流入河川の水位・水温観測による水文特性の把握」のタイトルで論文発表を行った。
9月16日～18日 オンライン開催	第31回廃棄物資源循環学会研究発表会にて博士後期課程の周可が“中国北京市における生活ごみの分別に対する市民意識の調査”、Cherki Mohamed Hamuzaが“Estimation of compost potential demand through agriculture land allocations and crop callendars, Case study of Rabat area in Morocco” Mondal Md. Shoriful Alam が “Assessing heating value of MSW of Dhaka city to support WtE technology”、石井明夫が「区単位での廃棄物管理の導入から定着までのプロセスに関する事例研究 —バングラデシュ国ダッカ市とスーダン国ハルツーム州の比較を通じて—」のタイトルでそれぞれ論文発表を行った。
10月23日 オンライン開催	国際共生社会研究センター 第21回シンポジウム「Withコロナ時代のDecade of Action～国際共生社会研究センターの貢献～」を共催した。
10月30日～11月1日 オンライン開催	2020年地域安全学会研究発表会（秋季）にて博士後期課程の虫明一郎が「震災の人的被害の定性的危険度導入・設定に関する考察」のタイトルで論文発表を行った。
11月13日～15日 オンライン開催	第62回 土木計画学研究発表会・秋大会にて博士後期課程の太瀬隆敬が「アジア途上国における私的交通に依存した交通行動に関する研究」のタイトルで論文発表を行った。
12月5日 オンライン開催	国際開発学会第31回全国大会にて博士後期課程の内田善久が「パキスタン気象局における気象レーダー観測能力向上に関する考察－日本の支援に着目して－」のタイトルで論文発表を行った。

12月6日 オンライン開催	アジア・アフリカ都市計画研究分科会にて博士後期課程のSothea Roth Phouが“Review of Neighborhood Planning Theories for Application in Rapidly Urbanizing Cities : The Case of Phnom Penh Capital City, Cambodia”、博士前期課程の山口直人が“A Study on Potential Contribution of Local Construction Organizations for Incremental Neighborhood Improvement”のタイトルで論文発表を行った。
12月18日～19日 オンライン開催	日本災害復興学会2020年度大会にて博士前期課程の木村航平が「熊本地震被災地の人口動態に関する考察」のタイトルで論文発表を行った。

## 国際観光学研究科

### 【国際観光学専攻】

1月25日（土） 本学1号館	本専攻の2019年度秋学期第2回研究発表会ならびに修士論文口述審査会を実施した。参加人数約30名。
5月30日（土） オンライン	本専攻の2020年度春学期第1回研究発表会を実施した。参加人数約30名。今回は新型コロナ環境下で、ToyoNet-ACEを活用した内容であった。初めてのオンライン発表会であったが、多くのコメントが教員・学生より示された。
7月18日（土） オンライン	本専攻の2020年度春学期第2回研究発表会ならびに修士論文口述審査会をオンラインで実施した。参加人数約30名。
10月3日（土） オンライン	日本民俗音楽学会の第9回研究例会で博士後期課程1年の田中樹里さんが発表を行った。テーマは「18世紀イタリアにおけるソルフェッジョ教育：ジュゼッペ・アプリーレ『36曲のソルフェッジョ』の分析から」。
10月11日（日） オンライン	日本交通学会の2020年度第79回研究報告会で、博士後期課程3年の成実信吾さんが発表を行った。テーマは「米国クルーズ船会社の経営分析～航空会社との比較の可能性も含め～」。
10月17日（土） オンライン	日本国際観光学会の第24回全国大会で、博士後期課程1年の田中樹里さんが発表を行った。テーマは「サンレモ音楽祭と観光」。
11月14日（土） オンライン	本専攻の2020年度秋学期第1回研究発表会を実施した。参加人数約30名。今回は新型コロナ環境下で、ToyoNet-ACEを活用した内容であった。
11月15日（日） オンライン	土木計画学研究発表会にて、博士前期課程2年のMarjorie QUIAOIT氏が論文の発表をZoom上で行った。修士論文の内容の一部の発表を行い、投稿年代ごとの分布（Core Clusterなど）Reviwerの個人属性や興味などによる特性把握、Word2Vec手法の特徴について、コメントがなされた。  THE ROLE OF TRAVELER'S FEEDBACK IN TOURISM DEVELOPMENT：ANALYSIS OF TRAVEL REVIEWS ON THE PHILIPPINE TOURISM EXPERIENCE  Marjorie QUIAOIT, Hideki FURUYA 土木計画学研究・講演集 62 2020年11月
12月5日（土） オンライン	日本観光研究学会の第35回全国大会で、博士前期課程1年の岩崎比奈子さんが発表を行った。

11月28日（土） Youtubeで配信	<p> 本学協定校イタリア・ベネチア大学との学長施策「観光イノベーションプロジェクト」のイベントとして、アートを通じた持続可能な社会・サステイナブルツーリズムの実現を訴える「東洋大学観光短編映画祭」の授賞式をYoutubeを通じて配信を開始した。博士前期2年の長瀬真理子さんが映画祭の運営に教員と一緒に携わり、学生賞の選定も行い、ビデオでは発表もしている。 </p> <p> <a href="https://youtu.be/JdWe6K3V3Qk">https://youtu.be/JdWe6K3V3Qk</a> </p>
-------------------------	--

## 社会福祉学研究科

### 【社会福祉学専攻】

1月24日（金） 9：20～16：45 白山キャンパス 8204教室	2019年度秋学期中間報告会 報告者：博士前期課程14名 参加者45名
4月11日（土） 17：20～ ToyoNet-ACE	新入生ガイダンス PowerPoint動画配信
8月6日（月） 9：20～17：20 Webex Meetings	2020年度中間報告会 報告者：博士前期課程14名 参加者60名 すべての報告者の資料（PDF）を一つのデータにまとめて要旨集を作成した。また録画した中間報告会を発信し、院生がいつでも視聴できるようにした。
9月21日（月） 18：00～19：30 白山キャンパス 8601教室	対面による新入生オリエンテーション 博士前期課程新入生3名と社会福祉学専攻の全教員が参加した。
12月6日（日） 13：00～16：30 白山キャンパス 特別会議室 Webex Meetings	東洋大学福祉社会開発研究センターシンポジウム ICT（情報通信技術）と子どもの権利—韓国・台湾・日本の取り組み 専攻長の金子光一教授が開会の辞を担当し、森田明美教授が閉会の辞を担当した。参加者78名

## ライフデザイン学研究科

### 【生活支援学専攻】

1月26日（日） 13：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生4名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
2月12日（水） 10：30～13：00 朝霞キャンパス 大学院演習室3	教員8名が参加し、ライフデザイン学研究科生活支援学専攻子ども支援学コースの修士論文報告会が開催され、修了者1名が発表を行った。また、ライフデザイン学研究科生活支援学専攻子ども支援学コース修士課程1年生2名からの研究経過と研究計画発表が行われ、質疑応答が行われた。その後修士課程修了のお祝い会が行われた。
8月4日（火） 9：00～17：00 オンライン	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース春学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生13名、専任教員8名が参加し、質疑応答が行われた。
8月8日（土） 10：30～13：00 オンライン	教員9名が参加し、ライフデザイン学研究科生活支援学専攻子ども支援学コースの修士論文中間報告会がオンライン（Webex）で開催され、ライフデザイン学研究科生活支援学専攻子ども支援学コース修士課程2年生2名が発表を行い、活発な質疑応答が行われた。また、1年生に入学した留学生の自己紹介と研究テーマについて発表が行われた。
11月10日（火）、 17日（火） 9：00～12：00 オンライン	高齢者・障害者支援学コースにおいて、埼玉県立大学大島千帆先生による、「質的研究方法論についての特別講義」を実施した。10日は質的データ分析の方法・内容分析・テキストマイニングについての講義、17日は質的研究と量的研究を併用したミックスメソッド、さらに院生の研究へのスーパービジョンが行われた。両日とも教員3名、院生9名が参加した。

# 【健康スポーツ学専攻】

1月4日（土） 9：30～12：45 1月6日（月）・7日（火） 9：30～13：00、 14：00～16：45 朝霞キャンパス 朝霞事務課大学院 担当窓口	修士論文提出。対象者2名が提出した。
1月22日（水） 16：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室3	修士論文口述試験。修士論文提出者2名について一人45分（発表20分、質問・応答25分）発表終了後、審議の結果2名の合格を承認した。
4月 新型コロナウイルス感染予防のため メールにて実施	ガイダンス。新入生4名についてメールにてガイダンスを行う。履修登録、研究課題、副指導教授の決定及び題目届等の確認。 修士課程2年生2名についても同様のガイダンスを行った。
7月31日（金）～8月8日（土） メールにて実施 （コロナ禍対策のため）	第1回合同研究指導会（修士・博士論文中間発表会）。修士課程2年生2名、修士課程1年生4名およびヒューマンライフ学専攻健康スポーツ学分野博士後期課程1年生1名の研究についての進捗状況を中心に研究発表を行った。7月31日に7名が研究を文面にて報告、その発表に対して健康スポーツ学専攻教員が意見・質問を専攻長宛てに提出し、専攻長が各院生に連絡した。
12月23日（水） メールにて実施 （コロナ禍対策のため）	第2回修士論文合同研究指導会。修士課程1年生4名が研究発表を、修士課程2年生が修士論文進捗報告を文面にて報告、その発表に対して健康スポーツ学専攻教員が意見・質問を専攻長宛てに提出し、専攻長が各院生に連絡した。



# 【ヒューマンライフ学専攻】

1月26日（日） 13：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生4名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
7月31日（金） ～8月8日（土） メールにて実施 （コロナ禍対策のため）	第1回合同研究指導会（修士・博士論文中間発表会）。健康スポーツ学専攻修士課程2年生2名、修士課程1年生4名およびヒューマンライフ学専攻健康スポーツ学分野博士後期課程1年生1名の研究についての進捗状況を中心に研究発表を行った。7月31日に7名が研究を文面にて報告、その発表に対して健康スポーツ学専攻教員が意見・質問を専攻長宛てに提出し、専攻長が各院生に連絡した。
8月4日（火） 9：00～17：00 オンライン	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース春学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生13名、専任教員8名が参加し、質疑応答が行われた。
9月29日（火） 16：00～18：00 オンライン	子ども支援学分野において、教員4名が参加し、ヒューマンライフ学専攻博士後期課程の研究経過報告会がオンライン（Webex）で開催され、3名の在籍学生が発表を行い、質疑応答が行われた。
11月10日（火）、 17日（火） 9：00～12：00 オンライン	高齢者・障害者支援学分野において、埼玉県立大学大島千帆先生による、「質的研究方法論についての特別講義」を実施した。10日は質的データ分析の方法・内容分析・テキストマイニングについての講義、17日は質的研究と量的研究を併用したミックスメソッド、さらに院生の研究へのスーパービジョンが行われた。両日とも教員3名、院生9名が参加した。

## 【人間環境デザイン専攻】

2月20日（木） 東京大学柏キャンパス	佐藤淳准教授とENSAVSのMarc Dilet教授による構造ワークショップ講評会に、櫻井教授と博士前期課程の大学院生が参加した。
7月13日（月） オンライン	ロンドンのヘザウィック・スタジオに御勤めの鶴巻崇氏に「海外での設計活動」について、氏の日本での設計活動とその後の渡航・留学・就職・転職の経緯と設計活動について、氏がその設計活動に参加された作品、現在の設計活動を含めて、御講演頂いた。
12月8日（火） オンライン	建築家Nicola Baserga氏に「トレース -地域がつむぐ現代の建築文化-」という題で、地域の中で現代の建築家が育ち、建築文化が積み重ねられていくという、一見当たり前のようで日本の状況とは少し異なる世界で、一人の建築家が先人の建築家の仕事をどのように「トレース」し、自分の仕事に繋げているか等について御講演頂いた。

## 福祉社会デザイン研究科

### 【ヒューマンデザイン専攻】

1月26日（日） 13：00～17：30 朝霞キャンパス 大学院演習室2・3	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース秋学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生4名、博士後期課程院生9名、専任教員9名が参加し、質疑応答が行われた。
7月18日（土） 10：00～17：00 オンライン	子ども支援学コースにおいて、日本モンゴル文化学会第4回夏季学術大会がオンライン（zoom）で開催され、ヒューマンデザイン専攻博士後期課程3年の麗麗が研究報告をし、質疑応答が行われた。
8月4日（火） 9：00～17：00 オンライン	ライフデザイン学研究科/福祉社会デザイン研究科高齢者・障害者支援学コース春学期合同研究指導会を開催した。博士前期・修士課程院生8名、博士後期課程院生13名、専任教員8名が参加し、質疑応答が行われた。
8月27日（木） 10：00～17：00 オンライン	子ども支援学コースにおいて、夏季1日オンライン合宿をおこない、教員3名、博士後期課程在籍生7名が参加し、研究報告をして、活発な議論を行った。
9月12日（土）、13日（日） 10：00～17：00 オンライン	子ども支援学コースにおいて、日本社会福祉学会第68回秋季大会に博士後期課程在籍生3名が参加、Eポスターで博士後期課程在籍学生1名が報告した。
11月10日（火）、17日（火） 9：00～12：00 オンライン	高齢者・障害者支援学コースにおいて、埼玉県立大学大島千帆先生による、「質的研究方法論についての特別講義」を実施した。10日は質的データ分析の方法・内容分析・テキストマイニングについての講義、17日は質的研究と量的研究を併用したミックスメソッド、さらに院生の研究へのスーパービジョンが行われた。両日とも教員3名、院生9名が参加した。
12月6日（日） 10：00～16：00 白山キャンパス 8号館特別会議室	子ども支援学コースにおいて、2020年度子どもの権利条約総合研究所総合研究会が開催され、博士後期課程在籍学生2名が発表を行い、質疑応答が行われた。13時から開催された国際シンポジウム「ICT（情報通信技術）と子どもの権利」に参加した。